



特別勘定（アロケーション20（09）C）

四半期運用実績レポート

（2010年1月～2010年3月）



【利用する投資信託の委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュース株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。
*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(09)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(09)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月-2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した運用環境を、
アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 2010年1月-2010年3月

【日本株式市場】

日本株式市場では、TOPIX(東証株価指数、配当込み)は2009年12月末比8.81%の上昇となりました。1月後半から2月にかけては、中国の金融引き締めや米国での金融規制法案などを受けて世界景気の先行きに不透明感が広がったほか、為替の円高傾向を嫌気して下落基調となりました。その後3月末にかけては、米経済指標の改善や円安進行、また日本銀行による追加金融緩和への期待などを受けて上昇基調となりました。

【米国株式市場】

米国株式市場では、S&P500株価指数は2009年12月末比5.39%の上昇となりました。1月後半から2月上旬にかけて、米大手銀行の決算でローン損失の拡大が示されたこと、中国当局が金融引き締めに向け動き世界景気の減速が懸念されたこと、またオバマ米大統領が発表した金融規制法案が金融機関の利益を圧迫するとの懸念などを背景に下落しました。その後は、好調な経済指標や企業決算が相次いだほか、米連邦準備理事会(FRB)が低金利を長期間維持する方針を表明したことなどを受けて、堅調に推移しました。

【欧州株式市場】

欧州株式市場では、ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックスは2009年12月末比0.90%の下落となりました。1月中旬から2月にかけては、中国政府による経済の加熱防止の動きやギリシャの財政健全性をめぐる懸念などから軟調な展開となりました。その後3月末にかけては、底堅い米経済指標や中国の貿易データ、ギリシャ財政問題に関する明るいニュースが続いたこと、原油価格の上昇などを好感して上昇しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、3月上旬までは発表された米国の経済指標が強弱まちまちであったことや株式市場の動向に左右されるなど、方向感に欠ける展開となりました。その後は、日経平均株価の上昇などを受けて債券価格は下落(利回りは上昇)し、2010年3月末の新発10年国債利回りは1.395%となりました(2009年12月末は1.285%)。

1月の方向感に欠ける動きの後、2月初旬にかけては、株式市場が堅調に推移したことや米国の雇用統計が強い内容になるとの観測などから、新発10年国債利回りは2009年11月以来の高水準となる1.380%まで上昇しました。しかしその後は、1月に続き中国が預金準備率引き上げを発表したことから景気の先行き懸念が強まったことや早期利上げ観測が後退したことなどから債券価格は上昇(利回りは低下)しました。3月初旬には、日本国債の入札が良好だったことから、新発10年国債利回りは約2か月ぶりの低水準となる1.29%台まで低下しました。その後は、米国の雇用や製造業関連統計の改善や日経平均株価の上昇を受けて債券価格は下落(利回りは上昇)し、3月末にかけて新発10年国債利回りは2009年6月以来の高水準となる1.39%台まで上昇しました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。

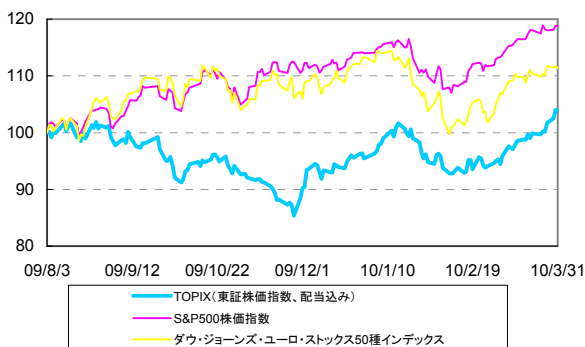
【外国為替市場】

3月上旬までは、世界の景気先行き不透明感からリスクを回避して円を買う動きがあったことや、ギリシャの財政問題がユーロ圏の他国にも波及するとの懸念などを受けて、円が上昇し、ユーロは下落しました。3月末にかけては、世界的な景気回復に対する期待感などから、安全投資先としての円の需要が後退し、円は米ドルやユーロに対して下落しました。

2010年3月末の投資信託の基準価額の算定に使用する円ドル・レートは2009年12月末比94銭(1.02%)円安ドル高の1ドル=93円04銭、円ユーロ・レートは、2009年12月末比7円08銭(5.36%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

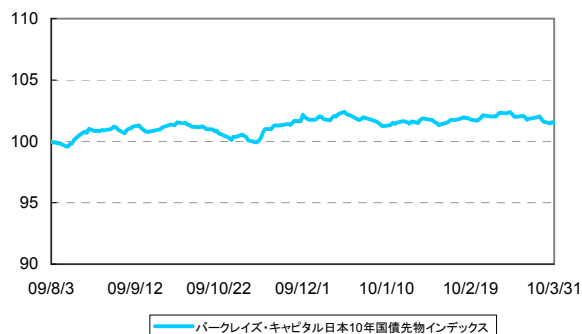
日本と米国と欧州の株式市場の推移

*下記グラフはTOPIX(東証株価指数、配当込み)は2009年8月3日を、S&P500株価指数およびダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックスは2009年8月3日の前営業日をそれぞれ100として指数化しています。

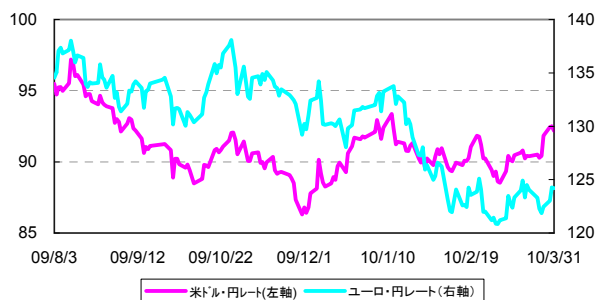


日本の債券市場の推移

*下記グラフは2009年8月3日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

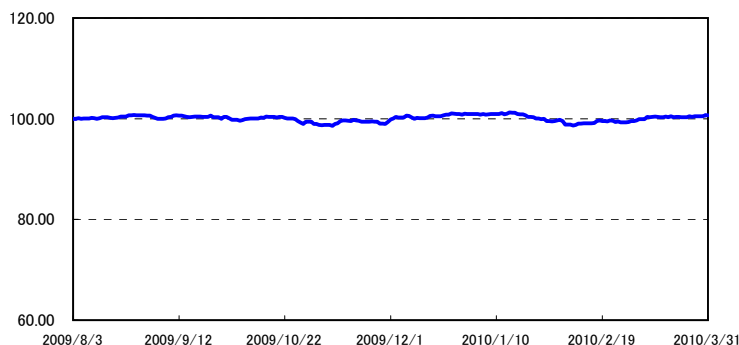
変額個人年金保険（09）終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート（2010年1月-2010年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・パースタイン株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
アロケーション20(09)C	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じて、国内外の株式および円貨建ての公社債へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ● 基本配分比率は以下の通りとし、一定の規律に従いリバランスを行います。 アライアンス・パースタイン・日本債券インデックス・マザーファンド受益証券80% アライアンス・パースタイン・日本株式インデックス・マザーファンド受益証券10% アライアンス・パースタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド受益証券5% アライアンス・パースタイン・米国株式インデックス・マザーファンド受益証券5% * 「アライアンス・パースタイン・米国株式インデックス・マザーファンド」受益証券および「アライアンス・パースタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド」受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ● 当ファンドの主なリスク 資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替リスク等
利用する投資信託	
適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・バランス(20/80)	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年8月3日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率(%)	
2010年3月末	100.70	過去1ヶ月	1.44%
2010年2月末	99.27	過去3ヶ月	▲0.22%
2010年1月末	99.50	過去6ヶ月	0.36%
2009年12月末	100.93	過去1年	—
2009年11月末	99.36	過去3年	—
2009年10月末	99.40	設定来	0.70%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	アロケーション20(09)C	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	8,039,904	99.4%
現預金・その他	46,868	0.6%
合計	8,086,773	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

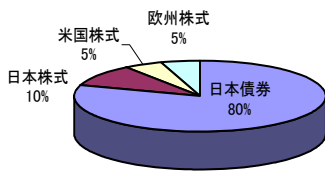
変額個人年金保険(09) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月-2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、アライアンス・バーンスタイン株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の運用状況 [2010年3月末日現在]

■ファンドの特色

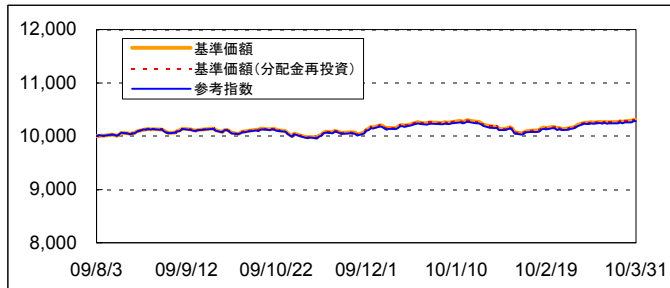
〈基本資産配分〉



- 当ファンドは、国内外の株価指数先物および円貨建ての公社債を主要投資対象とするマザーファンドに分散投資しバランス運用を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
- 各マザーファンドの主要投資対象およびベンチマークは以下のとおりです。
 - アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド 日本の国債を主要投資対象とします。
(以下、「日本債券インデックスMファンド」といいます。) バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス
 - アライアンス・バーンスタイン・日本株式インデックス・マザーファンド 日本の株価指数先物を主要投資対象とします。
(以下、「日本株式インデックスMファンド」といいます。) TOPIX(東証株価指数、配当込み)
 - アライアンス・バーンスタイン・米国株式インデックス・マザーファンド 米国の株価指数先物を主要投資対象とします。
(以下、「米国株式インデックスMファンド」といいます。) S & P500株価指数(円ベース)
 - アライアンス・バーンスタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド 欧州の株価指数先物を主要投資対象とします。
(以下、「欧州株式インデックスMファンド」といいます。) ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス(円ベース)

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の当初設定日(2009年8月3日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年0.2205%(税抜0.21%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- 参考指数は、バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス80%、TOPIX(東証株価指数、配当込み)10%、S & P500株価指数(円ベース)5%およびダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス(円ベース)5%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	当月末	前月末	前月末比
基準価額	10,309円	10,134円	175円
純資産総額(百万円)	69,901	42,602	+27,299

	基準価額	日付
設定来高値	10,309円	2010/3/30
設定来安値	9,969円	2009/11/9

■資産構成

	基本資産配分	ファンドの資産構成
日本債券インデックスMファンド	80.00%	79.78%
日本株式インデックスMファンド	10.00%	10.14%
米国株式インデックスMファンド	5.00%	5.05%
欧州株式インデックスMファンド	5.00%	5.06%
現金等	-	-0.02%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率です。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「現金等」の値がマイナスで表示されることがあります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.73%	0.51%	1.89%	-	-	3.09%
参考指数	1.70%	0.49%	1.67%	-	-	2.85%
差	0.03%	0.01%	0.21%	-	-	0.24%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- 設定来の騰落率は、ファンドの当初設定日(2009年8月3日)を起点として計算しています。

■分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	第1期の決算はまだおこなわれておりません。						
分配金	-						

- 1万口当たりの税引前分配実績です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております(純資産総額は単位未満切捨て)。

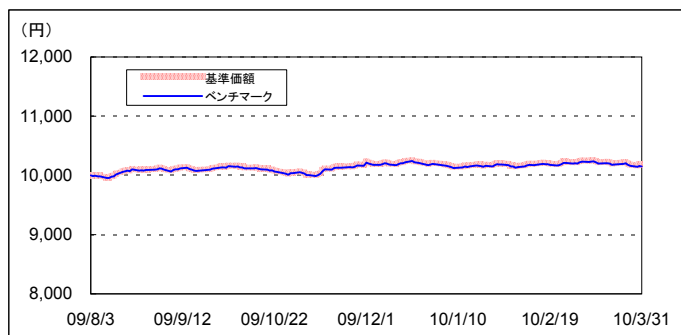
変額個人年金保険(09) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月-2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、アライアンス・バーンスタイン株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

アライアンス・バーンスタイン日本債券インデックス・マザーファンド



基準価額 10,176円
純資産総額 57,327百万円

■ 騰落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	
ファンド	-0.54%	-0.39%	0.27%	-	-	1.76%
ベンチマーク	-0.55%	-0.43%	0.18%	-	-	1.53%
差	0.01%	0.04%	0.08%	-	-	0.23%

- ・当初設定日は、2009年8月3日です。
- ・設定来の騰落率は、ファンドの当初設定日を起点として計算しています。

※ ベンチマーク: パークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス

- ・グラフに表示しているベンチマークは、当初設定日(2009年8月3日)を10,000として指数化しています。

■ 投資の状況

パークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックスをベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標とした運用を行っています。主として、インデックスの動きに連動する10年国債先物に投資(先物組み入れ比率は100.54%)しています。一方、国債先物の投資に必要な証拠金のほか、資金は主に下記資産で運用を行っています。

現物の資産構成

資産名	クーポン	償還日	比率
第284回利付国債	1.70%	2016年12月20日	0.15%
第79回国庫短期証券	0.00%	2010年4月12日	22.68%
第87回国庫短期証券	0.00%	2010年5月17日	34.88%
証拠金	-	-	1.45%
現金等	-	-	40.85%
合計			100.00%

- ・組入比率は、全て対純資産総額の比率です。
- ・先物投資に伴う余剰資金の運用を安全に行うために国庫短期証券等への投資を行っています。
- ・クーポンとは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

<ご参考> パークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス(ベンチマーク)

銘柄名	限月	比率
東証長期国債先物	2010年6月	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております(純資産総額は単位未満切捨て)。

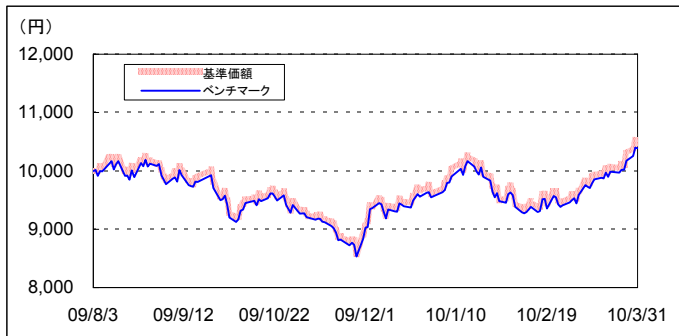
変額個人年金保険(09) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年1月-2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、アライアンス・バーンスタイン株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

アライアンス・バーンスタイン日本株式インデックス・マザーファンド



基準価額 10,467円
純資産総額 7,481百万円

■ 騰落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	
ファンド	10.67%	9.04%	8.47%	-	-	4.67%
ベンチマーク	10.41%	8.81%	8.51%	-	-	3.88%
差	0.26%	0.23%	-0.04%	-	-	0.79%

- 当初設定日は、2009年8月3日です。
- 設定来の騰落率は、ファンドの当初設定日を起点として計算しています。

※ ベンチマーク: TOPIX(東証株価指数、配当込み)

- グラフに表示しているベンチマークは、当初設定日(2009年8月3日)を10,000として指数化しています。

■ 投資の状況

TOPIX(東証株価指数、配当込み)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標とした運用を行っています。主として、TOPIX(東証株価指数、配当込み)の動きに連動するTOPIX先物及びTOPIX連動型上場投資信託に投資(先物組み入れ比率は99.96%)しています。一方、TOPIX先物の投資に必要な証拠金のほか、資金は主に下記資産で運用を行っています。

現物の資産構成

資産名	クーポン	償還日	比率
第87回国庫短期証券	0.00%	2010年5月17日	66.96%
証拠金	-	-	-2.81%
現金等	-	-	35.86%
-	-	-	-
-	-	-	-
合計			100.00%

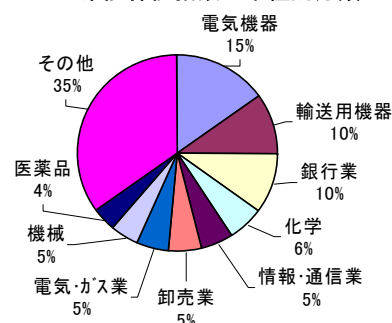
- 組入比率は、全て対純資産総額の比率です。
- 先物投資に伴う余剰資金の運用を安全に行うために国庫短期証券等への投資を行っています。
- クーポンとは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

<ご参考> TOPIX東証株価指数構成上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.95%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.83%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.16%
4	キヤノン	電気機器	2.06%
5	三井住友フィナンシャル・グループ	銀行業	1.78%
6	三菱商事	卸売業	1.48%
7	ソニー	電気機器	1.47%
8	任天堂	その他製品	1.37%
9	NTT	情報・通信業	1.26%
10	武田薬品工業	医薬品	1.24%
合計			19.61%

※ 業種は、東証33業種の分類で区分しています。

<ご参考> TOPIX東証株価指数の業種別分類



- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております(純資産総額は単位未満切捨て)。

変額個人年金保険(09) 終身D3型

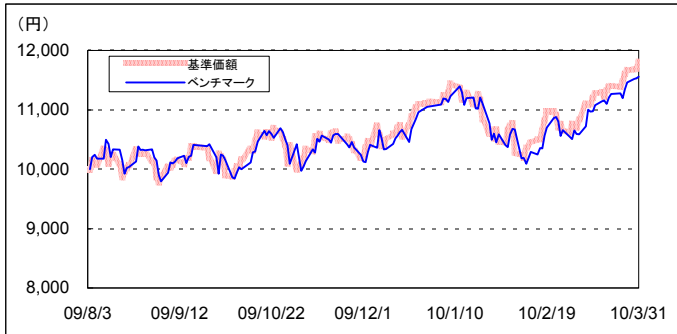
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月-2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、アライアンス・バーンスタイン株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

アライアンス・バーンスタイン米国株式インデックス・マザーファンド



基準価額 11,810円
純資産総額 3,728百万円

騰落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	
ファンド	10.84%	6.00%	15.59%	-	-	18.10%
ベンチマーク	10.67%	5.24%	14.09%	-	-	16.68%
差	0.17%	0.76%	1.50%	-	-	1.42%

- ・当初設定日は、2009年8月3日です。
- ・設定来の騰落率は、ファンドの当初設定日を起点として計算しています。

※ ベンチマーク: S&P500株価指数(円ベース)

- ・グラフに表示しているベンチマークは、当初設定日(2009年8月3日)前日を10,000として指数化しています。

投資の状況

S&P500株価指数(円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標とした運用を行っています。

主として、S&P500株価指数(円ベース)の動きに連動するS&P500先物及びSPDR S&P500上場投資信託に投資(先物組み入れ比率は99.95%)しています。一方、S&P500先物の投資に必要な証拠金のほか、資金は主に下記資産で運用を行っています。

現物の資産構成

資産名	クーポン	償還日	比率
米国短期国債	0.00%	2010年6月17日	71.22%
証拠金	-	-	9.28%
現金等	-	-	19.50%
-	-	-	-
-	-	-	-
合計			100.00%

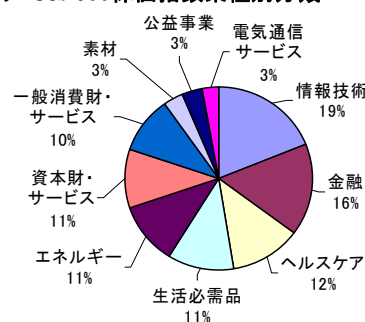
- ・組入比率は、全て対純資産総額の比率です。
- ・先物投資に伴う余剰資金の運用を安全に行うために短期国債等への投資を行っています。
- ・クーポンとは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

<ご参考> S&P500株価指数構成上位10銘柄

銘柄名	業種	比率
1 エクソン・モービル	エネルギー	2.99%
2 マイクロソフト	情報技術	2.11%
3 アップル	情報技術	2.02%
4 ゼネラル・エレクトリック	資本財・サービス	1.84%
5 プロクター・アンド・ギャンブル	生活必需品	1.74%
6 ジョンソン・アンド・ジョンソン	ヘルスケア	1.70%
7 パンク・オブ・アメリカ	金融	1.70%
8 JPモルガン・チェース	金融	1.68%
9 IBM	情報技術	1.58%
10 ウェルズ・ファーゴ	金融	1.53%
合計		18.89%

※ 業種は、MSCI社/S&P社のGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

<ご参考> S&P500株価指数業種別分類



- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております(純資産総額は単位未満切捨て)。

変額個人年金保険(09) 終身D3型

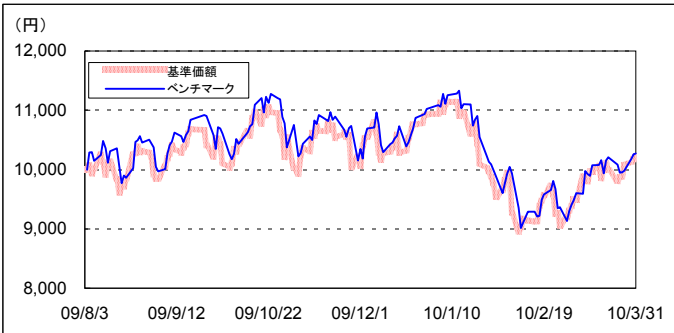
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月-2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(09)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるアライアンス・バーンスタイン株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、アライアンス・バーンスタイン株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(20/80)の運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

アライアンス・バーンスタイン欧州株式インデックス・マザーファンド



基準価額 10,216円
純資産総額 3,733百万円

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	12.86%	-6.54%	-2.92%	-	-	2.16%
ベンチマーク	12.86%	-7.02%	-3.61%	-	-	3.07%
差	0.00%	0.48%	0.70%	-	-	-0.91%

- ・当初設定日は、2009年8月3日です。
- ・設定来の騰落率は、ファンドの当初設定日を起点として計算しています。

※ ベンチマーク: ユーロ・ストック50株価指数(円ベース)

- ・グラフに表示しているベンチマークは、当初設定日(2009年8月3日)前日を10,000として指数化しています。

投資の状況

ユーロ・ストック50株価指数(円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標とした運用を行っています。主として、ユーロ・ストック50株価指数(円ベース)の動きに連動するユーロ・ストック50先物及びシエアーズ・ユーロ・ストック50上場投資信託に投資(先物組み入れ比率は99.81%)しています。

一方、ユーロ・ストック50先物の投資に必要な証拠金を除いた余剰資金は、主に下記資産で運用を行っています。

現物の資産構成

資産名	クーポン	償還日	比率
ベルギー短期国債	0.00%	2010年6月17日	69.64%
証拠金	-	-	10.07%
現金等	-	-	20.29%
-	-	-	-
-	-	-	-
合計			100.00%

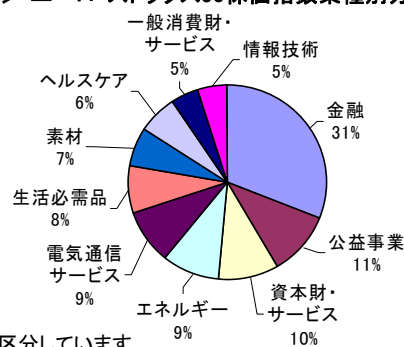
- ・組入比率は、全て対純資産総額の比率です。
- ・先物投資に伴う余剰資金の運用を安全に行うために短期国債等への投資を行っています。
- ・クーポンとは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

<ご参考> ユーロ・ストック50株価指数構成上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	比率
1	トータル	エネルギー	5.80%
2	サンタンデール銀行	金融	4.95%
3	テレフォニカ	電気通信サービス	4.44%
4	シーメンス	資本財・サービス	3.95%
5	サノフィ・アベンティス	ヘルスケア	3.75%
6	BNPパリバ	金融	3.46%
7	イーオン	公益事業	3.37%
8	ノキア	情報技術	2.66%
9	ENI(イタリア炭化水素公社)	エネルギー	2.61%
10	BASF	素材	2.60%
	合計		37.59%

※ 業種は、MSCI社/S&P社のGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

<ご参考> ユーロ・ストック50株価指数業種別分類



- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております(純資産総額は単位未満切捨て)。

変額個人年金保険 (09) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式および円貨建ての公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被る可能性があります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者が、ご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【お客様にご負担いただく費用について】

- この保険では、「契約初期費」「保険関係費」「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立(運用)期間中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.95%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用 投資信託の純資産総額に対して 年率0.2205%程度 (税抜年率0.21%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産総額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産総額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産総額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、確定年金・保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(09)終身D3型「アンスウィート プラス」は現在販売しておりません。

【取扱者 (生命保険募集人)】

 中央三井信託銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>